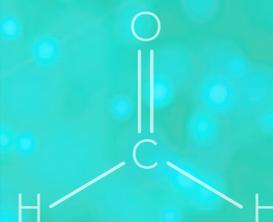


**matachana**  
Infection Control



**エルティーンセーフ®**

**LTSAFE®**

第四世代最新型  
低温蒸気ホルムアルデヒド(LTSF)滅菌装置  
2% 水溶液使用ハイスピード(HS)モデル  
**Matachana 130LF®**

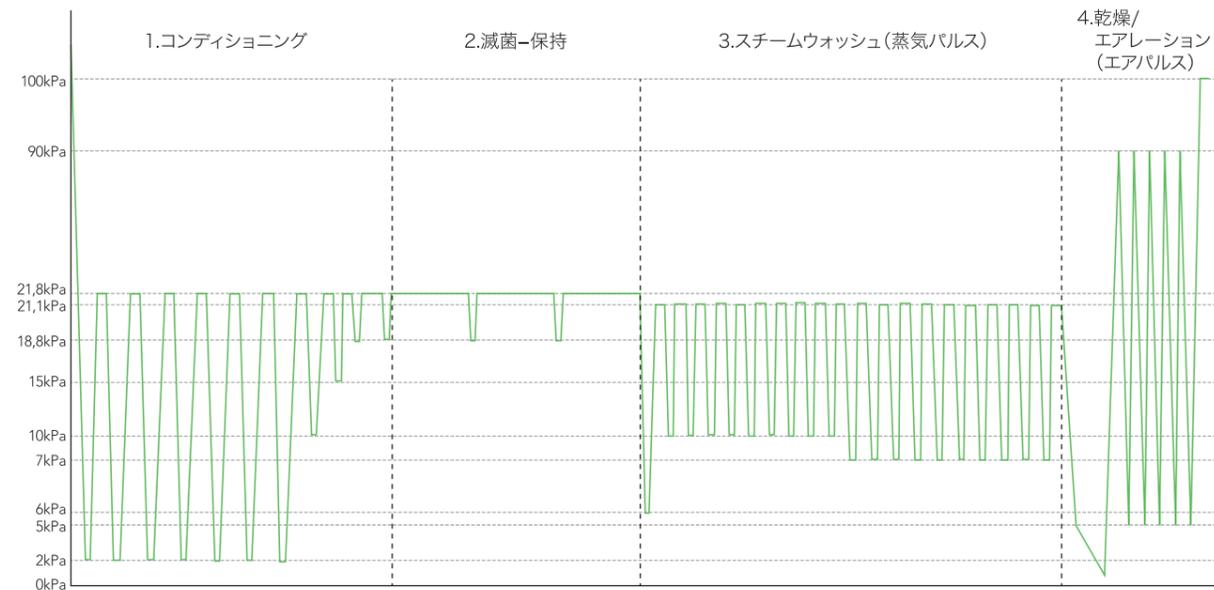
# ハイスピードな滅菌工程

エルティーフHSモデルは用途に合わせた二つの滅菌工程を選択できます。

工程時間の目安			
滅菌工程	60°C	約90~120分	軟性ビデオスコープ、ビデオ硬性腹腔鏡などの管状を有する光学視管やカメラ 
	78°C	約60~90分	硬性内視鏡などの管状を有する光学視管やカメラ 
テストプログラム	VT		バキュームテストプログラムは滅菌チャンバーの気密性を試験します

※滅菌物、電源、給水温度により工程時間は変動します。内視鏡やカメラの適用には60°Cもしくは78°CまでのLTSF滅菌工程に耐えられることが条件です。

## 60°C LTSF滅菌工程



# 2%ホルムアルデヒド水溶液

- エルティーフ専用開発されたプラスチックバッグ入り滅菌剤e-bag®
- 2%と極めて低い濃度のホルムアルデヒド水溶液を使用しています。
- e-bag®は衝撃に強い低密度ポリエチレン製です。
- RFIDタグにより有効期限の管理とトレーサビリティを実現します。
- e-bag®は穿孔を自動で行います。
- e-bag®の交換時期はライトの点灯で表示されます。
- バッチ番号と有効期限はスクリーンに表示されます。

36ヶ月の長期有効期限により在庫管理に余裕が出ます。  
2.7L入りのe-bag®は1箱に3個入りです。



## 確実な払い出しのために



プロセスの有効性を評価し、確実に払い出しを行うために何よりもISO11140-1に準拠した化学的指標 (Chemical Indicator: CI)とISO11138-1,5に準拠した生物学的指標 (Biological Indicator: BI)は重要です。

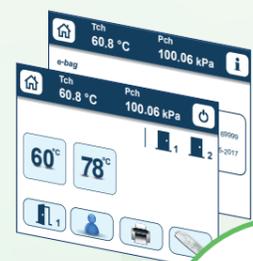
60°C  
78°C

タイプ4 CIを包装材内へ封入します。

EN867-5に準拠したヘリックスPCDとタイプ2により浸透性をチェックします。

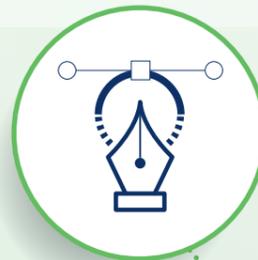
生物学的指標を使用します。

# 様々な利点が滅菌供給現場のニーズに応えます



## 簡単な操作

- EasyRUNシステムは直感的な操作を可能とします。
- 離れたところからでも滅菌工程の進行が簡単に確認できる見やすいLED表示。
- 操作方法は簡単ですぐに使い慣れていきます。



## フラットパネル

- シンプルでフラットな表面デザインは清掃を容易にします。



## 水溶液の長期間の有効期限

- e-bag®の有効期限は**36ヶ月!**在庫管理に柔軟に対応します。



## 滅菌物への影響

- LTSF滅菌方式は非常にデリケートな器具に対応しています。



## セーフティー

- 水溶液は落下による破損を予防するポリエチレンバッグ入りです。
- あらかじめ**2%に希釈された水溶液**を使用したダイレクト・インジェクション・システムです。
- 飲料水レベルの水があれば、RO水は装置内で精製できます。



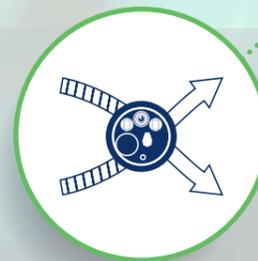
## エルゴノミクスデザイン

- 自動穿刺システムによりバッグのセット時間を短縮します。
- さらにバッグの廃棄も簡単に行えます。



## 互換性とドキュメンテーション

- 内蔵されたサーマルプリンター
- 1,000サイクルまで記録する内蔵メモリー
- USBポートにより工程ログデータの取出しが可能
- 弊社滅菌管理システム MKU-1 (別売)に接続可能



## 浸透性

- 内腔0.5mm、全長3mまでの複雑な管状器械への浸透を有しています。



## スピード

- **12kg**の滅菌物における工程時間は**90分~120分**。LTSF滅菌は工程時間が長い!という課題が大幅に改善されています。

# エルティーフHSモデル 技術仕様



	130LF®-1HS	130LF®-2HS
<b>寸法(mm)</b>		
間口	900	900
高さ	1864	1864
奥行	1101	1125
<b>チャンバーサイズ(mm)</b>		
間口	335	335
高さ	363	363
奥行	929	972
<b>チャンパー容量(L)</b>	143	148
<b>重量(kg)</b>	550	600
<b>電源(kW)</b>	200V/3φ, 50~60Hz, 9kW (40A)	
<b>給水</b>	口径20A/圧力0.25~0.6MPa/温度15°C以下希望	
<b>排水</b>	口径50A背圧無きこと	

※蒸気設備、RO設備は不要です。



## 手術医療の実践ガイドライン(改訂第三版)\*

### 第8章 洗浄、消毒、滅菌

#### 皿滅菌

E. 低温滅菌が必要で他に適切な滅菌法がない場合に酸化エチレンガス滅菌を用いる。

F. 非耐熱性の高価な器材で頻回使用が求められる場合には、過酸化水素低温ガスプラズマ滅菌や過酸化水素ガス低温滅菌または低温蒸気ホルムアルデヒド滅菌が適している

#### (解説) 抜粋

ホルムアルデヒド滅菌は欧州では50年以上も前より使用されてきた滅菌法で、低温蒸気ホルムアルデヒド滅菌では機械的制御として圧力、温度、時間をモニターし、予備加熱、空気除去、プレコンディショニング後に滅菌工程を行い、その後にRO水の蒸気パルスとエアパルスによる脱離を行う。OH基による蛋白質の凝固と核酸のメチル化によって滅菌される。対象器具は基本的にEOG滅菌と同じで、包装材としては不織布が推奨されている。滅菌コンテナの使用は確定されていない。

\*日本手術医学会、手術医療の実践ガイドライン(改訂第三版)、日本手術医学会誌、2019;40:S100-1.



マタチャナグループ

## 革新は進むべき道である

50年前の設立より、我々の信念はベストなサービスを提供すること、我々の知識と現場経験をお客様へ提供し日々を促進すること、それにより滅菌供給業務において高い品質を維持しつつ、より効率的に提供できるようにすることです。

その歴史は1962年に始まり、現在では、フランス、ドイツ、イタリア、米国、アルゼンチン、マレーシアに直接の拠点を構え、110以上の国々に直接取引の販売店を持つマタチャナグループとなりました。マタチャナグループでは、トレーニングとサービスを提供することで、顧客満足度へ繋がると確信しました。そのため、我々は常にこの2つの分野の発展に投資し、お客様と直接連絡を取り、その成果をフィードバックすることで製品を発展させてきました。

### 品質

マタチャナ社はISO9001とISO13485を取得しています。

### 環境に優しい

本装置は省エネに特化した、最新の技術を用いてデザイン・製造されています。

- 認証番号：第302AFBZX00028000号
- 一般的名称：ホルムアルデヒドガス滅菌器(40583000)
- 販売名：LTSF滅菌器130LF HS シリーズ



本社・楮原工場認証取得

滅菌システムの専門メーカー

**株式会社 ウドノ医機**

<https://www.udono.com>



#### ● 本社

〒192-0063 東京都八王子市元横山町2-1-9  
TEL(042)642-6301 FAX(042)644-8350  
営業部TEL(042)642-6153 FAX(042)642-4784

#### ● 楮原工場

〒193-0803 東京都八王子市楮原町1453-2  
TEL(042)625-3661 FAX(042)627-6334

#### ● 楮原第二工場

〒193-0803 東京都八王子市楮原町1480-1  
TEL(042)659-0058 FAX(042)659-0059

- 医療機器製造業許可番号 13BZ002083/13BZ201693
- 第二種医療機器製造販売業許可番号 13B2X00198
- ISO取得番号 ISO9001/ISO13485

#### 東北営業所

〒030-0844 青森県青森市桂木1-4-28  
TEL(017)774-6259 FAX(017)775-4012

#### 名古屋営業所

〒486-0821 愛知県春日井市神領町3-2-4  
TEL(0568)53-3636 FAX(0568)53-3637

#### 大阪営業所

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-1-9  
TEL(06)6330-1052 FAX(06)6330-1053

#### 九州営業所

〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王2-7-33  
マルシン山王ビル  
TEL(092)433-4155 FAX(092)433-4157

#### 東京サービスセンター

〒192-0063 東京都八王子市元横山町2-1-9  
TEL(042)642-6153 FAX(042)642-4784

#### 仙台サービスセンター

〒981-0904 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘4-3-3  
TEL(022)301-6166 FAX(022)301-6167

#### 金沢サービスセンター

〒920-0005 石川県金沢市高柳町5-6-1  
金沢SKビル14号室  
TEL(076)254-5365 FAX(076)254-5629

#### 岡山サービスセンター

〒700-0952 岡山県岡山市北区平田140-107  
TEL(086)250-8473 FAX(086)250-8476

#### 熊本サービスセンター

〒861-8006 熊本県熊本市北区龍田9-4-34 丸利ビル  
TEL(096)215-8182 FAX(096)215-8183

#### 東京サポートセンター

〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-15  
TEL(03)3830-0539 FAX(03)3830-0534